

# 中国は「国防費だけが増額」

経済は危険水域なのに、  
軍事費だけ増やして何をやろうとしているのか？

中国の李克強首相といえば、「自国の経済指標は信用できない」と公言して中国経済のデタラメぶりを印象付けた経済通がその李克強首相が2018年の国家予算案を発表した。

## 中国、国防費8・1%増 全人代開幕、成長率目標は維持

中国の第13期全国人民代表大会（全人代、国会に相当）第1回会議が3月5日、北京の人民大会堂で開幕した。国務院（政府）は2018年予算案で、前年実績比8.1%増の1兆1069億510万元（約18兆4000億円）の国防予算を計上。

3年連続の1桁増だが、昨年伸び率の7.0%を上回った。

李克強（りこくきょう）首相は、2018年の実質国内総生産（GDP）の成長率目標を昨年同様、6.5%前後とし、中期的な安定成長を目指す方針を示した。今年の全人代は、国家主席と国家副主席の任期を2期10年までとする規定を撤廃する憲法改正案が可決される見通し。習近平（しゅうきんぺい）国家主席（共産





中国 習近平国家主席（共産党総書記）



中国 李克強首相

党総書記)は、2期目が終わる2023年以降も最高指導者の地位を保つことが可能になる。

李氏は政府活動報告の演説で、2017年10月の党大会で党規約に盛り込まれた習氏の指導理念が「歴史的地位が確立した」と讃えた上、「習総書記の核心の地位を断固として守る」よう呼び掛けた。

また、李氏は「揺らぐことなく中国の特色ある強軍の道を歩む」と強調。昨年の国防予算は前年実績比7.0%増の1兆443億元(約17兆4000億円)で、初めて1兆元の大台を突破。今年の国防予算の伸び率もGDP成長率を上回り、

主要国では依然として突出した伸びを維持した。

6.5%前後の成長率目標は2年連続。昨年の成長率は公共事業の拡大で押し上げられ、6.9%と7年ぶりに前年を上回った。しかし反動も予想されるため、第13次5カ年計画で16~20年の平均成長率目標とする6.5%以上の下限に設定し、目標達成を容易にする狙いもある。

**やれやれ「選挙のない一党独裁国家」。**  
**毛沢東独裁の暴走に学んだ「2期10年」**  
**の「任期規定」を撤廃するのならテロ・**  
**暗殺しか方法がなくなる。**